

教 職 員 の 皆 様

＜大学教育開発センター 学内シンポジウム＞のご案内

アメリカ高等教育機関の今

ーハーヴァード大学での経験からー

日 時：2015年7月23日（木） 16：20～17：40

場 所：桜美林大学町田キャンパス 崇貞館6階 H会議室

講 師：大中 真（人文学系／リベラルアーツ学群 准教授）

世界中の各大学は地球規模での運営展開に鎬を削っており、本学もその渦中にある。世界大学ランキング上位20校のうち15校がアメリカの大学であることに象徴されるように（Times Higher Education, 2014-15）、同国での大学の研究、教育、海外展開戦略は大学関係者やメディアから常に注目されている。

報告者は、2014年4月から2015年3月まで本学より特別研修の機会を与えられ、ハーヴァード大学に訪問研究員として滞在したが、その経験をもとに、アメリカの高等教育機関の今について、考えてみたい。もとより報告者は高等教育論の専門家ではないが、現地で得た知見が何らかの形で本学の今後の参考になれば幸いである。

講師略歴：1968年東京都生まれ。学習院大学法学部政治学科卒業。学習院大学大学院政治学研究科博士後期課程修了、博士（政治学）。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。上野学園大学専任講師を経て、2001年に桜美林大学着任。国際学部専任講師を経て、現在人文学系リベラルアーツ学群准教授。この間、2004年から2005年にかけてオクスフォード大学セントアントニーズ・コレッジ上級客員研究員（新渡戸フェローシップ）。

2014年から2015年にかけてハーヴァード大学歴史学部訪問研究員（桜友会フェローシップ）。ハーヴァードでの研究テーマは「アメリカ国際法学会の誕生とカーネギー国際法古典叢書の刊行に関する研究」。

申込方法：表題を「学内シンポジウム申込」とし、氏名・所属組織を明記して大学教育開発センター（fdcenter@obirin.ac.jp）までメールにてお申し込み下さい。なお、会場の収容人数の関係で、満席になり次第締め切らせていただきますので、早めにお申し込みください。

問合せ：桜美林大学 大学教育開発センター E-mail：fdcenter@obirin.ac.jp